

## Part 1 基本情報

## 1. チュニジアプロフィール

正式国名	(和文)チュニジア共和国 (英文) Republic of Tunisia
独立年月日・旧宗主国	1956年3月20日・フランス
政体	共和制
元首	ズイン・エル・アビディン・ベン・アリ (Zine El Abidine BEN ALI) 大統領
位置・面積	北緯 30 度 10 分 ~ 37 度 30 分 東経 7 度 30 分 ~ 11 度 40 分 16 万 2155km <sup>2</sup>
首都	チュニス
総人口	1,043.50 万人 (2009 年)
民族	アラブ人 (98%)、ベルベル人 (1%)、フランス人、イタリア人など
公用語	アラビア語
宗教	イスラム教 (国教)。その他、キリスト教 (ローマ・カトリック、ギリシャ正教) など
暦	祝祭日 (2010 年) 1 月 1 日 新年 2 月 26 日 預言者聖誕祭 3 月 20 日 独立記念日 3 月 21 日 青年の日 4 月 9 日 殉教者の日 5 月 1 日 メーデー 7 月 25 日 共和国誕生記念日 8 月 13 日 女性の日 9 月 10 日、11 日 ラマダン明け祝日 11 月 7 日 ベン・アリ大統領就任記念日 11 月中旬 犠牲祭 12 月 7 日 イスラム暦新年
日本との時差	- 8 時間
サマータイム実施の有無	2005 年より実施していたが、2009 年より中止している。

## 2. 業務のための基礎データ

### (1) JICA事務所概要

・正式名称: JICA チュニジア事務所 JICA TUNISIA OFFICE (BUREAU DE LA JICA EN TUNISIE)

・所在地

(宅配便送付の場合)

05Place Pasteur 1002 Belvédère Tunis, TUNISIE

(郵便送付先)

郵便物宛先: BP.520, 1002 Belvédère-Tunis, TUNISIE

・連絡先

・国番号: 216

・電話: (+216) 71-786386, 71-785295, 71-785616, 71-787831

・FAX: (+216) 71-787036

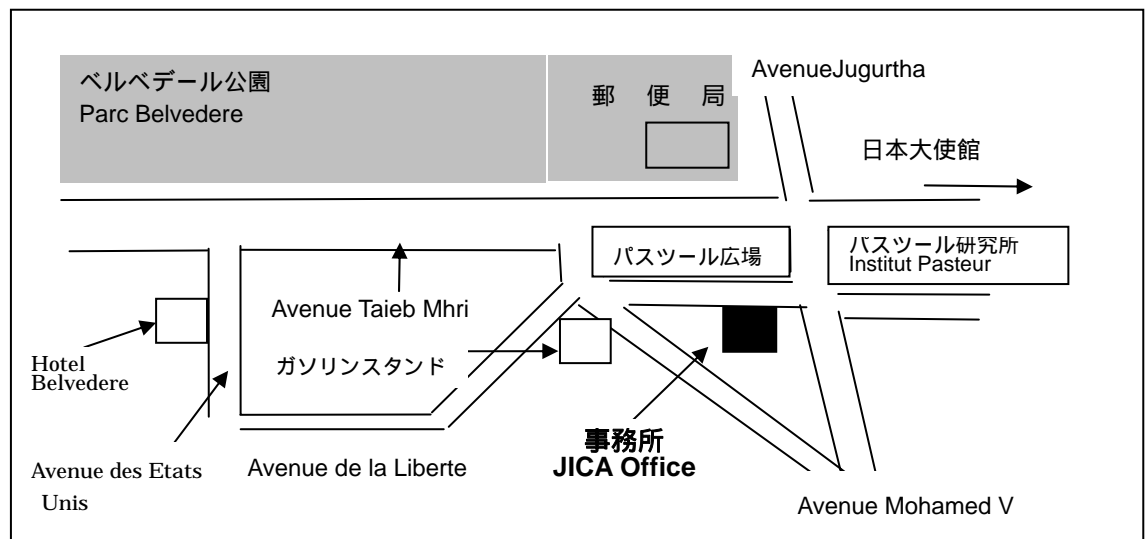
・URL: <http://www.jica.go.jp/tunisia/index.html>

緊急連絡先電話番号

- ・ 日本大使館: (+216)-71-791-251, +216-71-793-417
- ・ 警察: 197
- ・ 救急車: 190

・事務所までの交通

#### 1) 事務所周辺地図



#### 2) 空港から

チュニス・カルタゴ空港から市内まで約 6km。エアポートバスはなく、タクシーを利用。タクシー乗り場からは、黄色のタクシーを利用することになる。短距離でも 10DT 程請求してくることがあるが、メーター製のタクシーなので、乗車前にメーターの稼働を確認することが望ま

しい。

### 3) 空港以外から

メーター制の一般タクシーも手軽に利用できる。初乗 400 ミリーム (1000 ミリーム=1DT) 夜間 9 時より 50%増し。電話で呼び出し可能な ALLO TAXI 有(10 分程度で来る) TEL +216-71-783311。

## (2) 執務時間

- ・通常時 8:30 ~ 13:00、14:30 ~ 17:30
- ・ラマダン時期及び7 ~ 8 月 8:00 ~ 14:00(昼休みなし)

## (3) 休日、官公庁の休日

土曜・日曜。その他は以下の通り。(官公庁の休日は、金曜・土曜の午後、日曜)

1 月 1 日	新年	7 月 25 日	共和国誕生記念日
2 月 26 日	預言者聖誕祭	8 月 13 日	女性の日
3 月 20 日	独立記念日	9 月 10、11 日	ラマダン明け祝日
3 月 21 日	青年の日	11 月 7 日	ベン・アリ大統領就任記念日
4 月 9 日	殉教者の日	11 月中旬	犠牲祭
5 月 1 日	メーデー	12 月 7 日	イスラム暦新年

## (4) 言語

公用語はアラビア語であるが、フランス語も広く普及している。チュニジアのアラビア語は、チュニジア語とも称するべき方言で、エジプトなどのアラビア語とはかなりの違いがある。

## (5) 通貨

・通貨

チュニジア・ディナール(DT)、1ディナール=1,000 ミリーム

## (6) 通貨レート

・為替レート

1 米ドル = 1.4205 チュニジア・ディナール(2010 年 9 月)

100 円 = 1.7043 チュニジア・ディナール(2010 年 9 月)

最新の為替レートは、以下のサイト(Bloomberg.co.jp)で確認のこと。

<http://www.bloomberg.co.jp/tools/calculators/currency.html>

## (7) 関係機関

・在外日本関係機関

日本大使館(チュニス)

住所: 9, Rue Apollo XI, Cité Maharajene 1002 Tunis-Belvédère

TEL +216-71-791-251/71-792-363/71-793-417 FAX +216-71-786-625

執務時間:月～金 8:30～17:30(昼休み 12:30～13:30)

・現地関係官公庁

チュニジア外務省

住所: 1030 Avenue de la Ligue Arabe, Nord Hilton, Tunis

TEL +216-71-847-500 FAX +216-71-782-201

執務時間:(月～木)8:30～17:45 (昼休み 13:00～15:00)

(ラマダン中及び7～8月 8:00～14:00)

(金)8:30～13:00(ラマダン中 8:00～13:00)

(土)8:30～13:30(ラマダン中 8:00～14:00)

(8)有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>(外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>(外務省「渡航関連情報」)

## 1. ホテル、住宅



## 1-1 ホテル

観光立国ゆえに、チュニスおよび地方のリゾート地域のホテルはよく整備されている。宿泊料は比較的安く、最高級(5つ星)のホテルで、ハイシーズンのシングル1泊(朝食付き)が100~300ディナール程度である。外国人が主に利用するホテルは次のとおりである。

各ホテルとも、VISA、MASTER、AMEXのクレジットカードが利用可能。

## &lt;チュニス市内&gt;

Hotel Africa (5つ星) : 50, Ave. Habib Bourguiba, Tunis

TEL 71-347-477/FAX 71-347-432

Sheraton Tunis (5つ星) : Avenue de la Ligue Arabe 1080

TEL 71-782-800/ FAX 71-799-202

Hotel Laico (5つ星) : Bp 355 Place des Droits de Tunis(現在休業中)

TEL 71-350-355/71-348-635

GOLDEN TULIP El Mechtel (4つ星) : 3, Avenue Ouled Haffouz El Omrane, Tunis

TEL 71-783-200/FAX 71-781-973

Belvédère Fourati (4つ星) : 10, Ave. des Etats Unis d Amérique, Tunis

TEL 71-783-133 FAX 71-782-214

## &lt;カルタゴ、シディブサイド方面(在留邦人が団体旅行などで利用している)&gt;

Movenpick Gammarth (5つ星) : Route de Gammarth, Tunis (旧 Abou Nawas Gammarth)

TEL 71-741-444 FAX 71-740-400

Sidi Bou Said (4つ星) : 2026, Sidi Bou Said

TEL 71-740-411 FAX 71-745-129

Karim (3つ星) : Route Touristique Raouad, 2070, La Marsa

TEL 71-742-188 FAX 71-741-200

## &lt;ハマメット方面(リゾート地)&gt;

El Manar (4つ星) : El Mrezgua 8050, Hammamet

TEL 02-281-333 FAX 02-280-772

Sindbad (5つ星) : Avenue des Nations Unies, Hammamet

TEL 02-280-122 FAX 02-280-004

### <スース、モナステール方面(リゾート地)>

Orient Palace (5 つ星) : 4000 SOUSSE

TEL 03-242-888 FAX 03-243-345

Iberotel Green Park (4 つ星) : 4089 Port EL KANTAQUI

TEL 03-348-677 FAX 348-655

Sahara Beach (3 つ星) : 5000 MONASTIR

TEL 03-521-088 FAX 03-521-466

### 1-2 住宅事情

チュニジア、特にチュニス市内で供給されている多くの物件は 2, 3LDK である。また、ヴィラ(Villa)タイプ(2世帯住宅の2階部分)や一戸建ての物件もあり、選択肢は多い。赴任当初、住宅が見つかるまでの滞在には次のホテルを主に勧めている。

Belvédère Fourati (4 つ星) : 10, Ave. des Etats Unis d Amérique, Tunis

TEL 71-783-133 FAX 71-782-214

Hotel Le Consul (4 つ星) : 84, Rue de Palestine, Tunis

TEL 71-284-784 FAX 71-785-824

Le National (3 つ星) : 75, Av. Taieb Mehiri, TUNIS

TEL 71-782-955 FAX 71-785-707

### 1-3 住宅の探し方

住居探しは、安全性を第一に考えつつ、通勤、生活環境、子女の教育施設の有無を考えて探す必要がある。賃貸住宅の情報入手方法としては、下記の方法がある。

#### (1) 不動産屋から入手

新聞広告等にて数多くの不動産屋が紹介されており、これらの会社と連絡を取り、物件を見せてもらい、必要なら希望価格を伝え、大家と交渉する。仲介手数料は、借り手の負担で、1年間の家賃相当額の約 5%がチュニスにおける相場となっている。

なお、地区によっては(例えば La Marsa など)、不動産の供給が少ないために不動産業者でさえも情報を有していない場合もある。そのようなケースでは、新聞の不動産広告を丹念に探すか、あるいは逆に自ら新聞広告を出して物件を探すこととなるため、住居探しにはある程度の時間をかける覚悟が必要。

チュニスで営業している主要な不動産屋は、以下の通り：

SO.PRO.GIM : 46, Rue Mokhtar Attia, Tunis

Tel 98-312-271

AGENCE IMMOBILIERE HARRABI : 46, Rue 18 janvier, Tunis

Tel 71-332-424 / 98-301-578

**CONSULTANTS & HOUSING SERVICE :**

Immeuble Jasmin III, N ° 23 Résidence Belvédère 2, El Menzah 6  
Tel 98-222-209

**AGENCE IMMOBILIERE RIADH:** Résidence TANIT, Carthage Salambo

Tel 98-669-272 / 71-733-898

**AGENCE IMMOBILIERE OLFA:** Carthage Byrsa

Tel 71-734-257

**SAMIA ROYALE SERVICES:** 12, Rue Cyrus le Grand 1er étage Le  
Passage Tunis

Tel 71-343-054 / 98-614-523

(2) 街中で直接コンタクト

街中の建物で、「A LOUER」(貸します)と表示してある物件に、直接コンタクトを取る。

(3) 新聞の物件情報

La Presse の不動産広告欄の物件情報から、適当と思われる物件があれば、直接掲載されている連絡先にコンタクトする。コンタクト先は個人の場合と不動産屋の場合がある。La Presse 紙(0.600DT)の場合、L IMMOBILIER DE “LA PRESS”欄に広告が記載されている。

この記事中の「APPARTEMENTS OFFRES(貸アパート)」、「VILLAS OFFRES(一軒家の一部を貸す案件)」欄を見ること。短縮用語は次のリストを参考。

**短縮用語リスト**

短縮文字	正規の表現	意味
AL	A Louer	貸します
Appts	Appartements	アパート(日本のマンションのイメージ)
Studio	Studio	1 ルームマンション
2 p	2 pièces	2 室(通常寝室の数)
2 ch	2 chambres	2 寝室
s 又は sej	salon、séjour	居間
c 又は cuis	Cuisine	台所
sdb 又は sb	salle de bain	浴室
Sm	salle à manger	食堂
Ssm	salon et sale à manger	食堂と居間が 1 室になっている
wc	wc	トイレ
Meub	Meublé	家具付き
chaufage		暖房付き
Clim	Climatisé	エアコン付き
1er	première étage	1 階(日本の 2 階のこと)
Indép	indépendant	玄関が独立している
600D	600Dinars	家賃が 600 ディナール

その他には、地名、地域、コンタクト先などが記載。

#### 1-4 住宅選定上の留意点

家主さんとの契約の際には、事前に次の事項を確認されることを勧める。

##### (1) 地域の安全性

一般的に、いわゆる高級住宅街と言われている、概ね次の地域は比較的安全地域と言われている(あくまでも参考情報)。

- ・LA MARSA
- ・MUTUELLEVILLE
- ・EL MENZAH 各地域
- ・EL MANAL
- ・GAMMARTH
- ・CARTAGE
- ・SIDI-BOU SAID

##### (2) 賃貸物件の施設状況

入居後に不具合を発見し、家主に申し入れても、家主がなかなか動かないケースが多々ある。(入居後は借主の責任と解釈されるため)。契約前に、水回り、ガス機器、家電器具の状況を良くチェックし、気になる箇所は家主と共に確認し、契約前に家主に修理とか、新たに設置する事が重要となる。特に入居を急ぐ場合には、契約書付属書面として、約束事項をメモし署名してもらうことも時には必要となる。

###### 【具体的事例】

- ・洗面所の蛇口がグラグラ
- ・配管の水漏れ
- ・温水ポイラーのお湯が出ない。温度が上がらない。
- ・余りにも古い洗濯機、冷蔵庫、エアコン等々。
- ・あると便利な電子レンジ、アイロンとアイロン台等がない。
- ・ベッドに毛布・シーツがあるか。(来客用も含め。)
- ・TVの衛星放送が視聴できない。
- ・窓・サッシ類の鍵が閉まらない。
- ・マット・ソファーがきれいか(ダニ・虫等に注意)
- ・特に、玄関扉や窓の施錠、ガス器具の換気等に注意

##### (3) 電気・ガス・水道のメーター及び支払い済みの確認

入居前(又は入居引渡し時)に各メーターの数値を書きとめる。特に、前月までの使用料をきちんと支払い済みかどうか、要確認。チュニジアの電気・ガス(STEG)・水道(SONEDE)・固定電話(TUNISIE TELECOM)の会社は、使用料が期限までに未払の場合、予告なしに供給をストップさせる事がある。前の借主が未払いであるために供給がストップされる事例も散見されるため、家主にも事前に確認することが望ましい。

### 1-5 住宅の契約

契約書の内容を確認し、必要な箇所は適宜変更するなどして、双方合意のできる内容の準備が必要。特に、契約期間、家賃、保証金、家具付の場合はそのリスト(動作確認)、契約解除条項、途中解約する場合の条件、解約予告の期間、保証金の扱い(壊れた箇所が無ければ全額戻ってくる内容か、あるいは契約最終月に家賃として当てるか)、家具の修理、住居の改修工事費、消耗品の支払い、光熱費の支払い(チュニジアの場合、名義が大家になっているところが多い)、の6点については、契約書内で確認することが望ましい。また、契約名義が、大家か借主かも要確認。

契約書は市役所にて登録することとなっており、その際、パスポートの提示が義務付けられているため、ビザの取得と住居契約のタイミングは予め調整しておくことが必要。

また入居に際しては、破損箇所、家具の数など細かくチェックし、退去時にも同様にチェックを行い、入居による破損、紛失を確認する。通常入居時には、保証金1~2ヶ月分と家賃1ヶ月分(前払い)の予算が必要となる。

### 1-6 ガス・水道などの手続と管理

支払いが滞ると事前通告なしに、供給をカットされる。そのため、前倒しの支払が求められる。

(1)電気・ガス料金の場合電気・ガスの供給公社は、STEG (Société Tunisien de l'Electricité et du Gaz)の略称。ステッグと呼ぶ)。メーターの検針は、4ヶ月に1回だが、中間は前回までの実績に応じた、見込み額が請求される。2ヶ月毎に請求書(FACTURE)が届く。請求書が来ないからと言って、そのままにしておく、突然供給をストップされるので、要注意。2ヶ月過ぎても請求書が手元に届かない場合には、STEGの所轄のDistrict(支店)に申し出て確認してもらうのが賢明。

中間支払いの請求書に、次回の検針予定日が記入されている。この日に立会えば立会うことが推奨される。立会えない場合には、過去の実績額から試算した金額が請求される。この試算額が、ほぼ妥当と思える場合には、その請求金額で支払えば問題ない。しかし、余りにも実態と離れている場合には、自己検針しその数字と請求書を、STEGのDistrictのクレーム窓口(支払い窓口とは別、Accueilという。)で提示し、請求金額の修正をした請求書をもらい、支払うことになる(支払いは、支払い窓口)。

#### (2)水道料

供給公社は、SONEDE(ソネド)。検針と支払いは、3ヶ月毎で中間支払はない。その他の基本的な支払い方法等は、STEGと同じ。

### (3) 支払い先について

各種公共料金の支払いは、各公社の支店窓口、郵便局で支払える。但し、僅かながら郵便局での支払いには、手数料が上乘せされる。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

220V で周波数は 50Hz。日本製品を使用する場合は、変圧器と変換プラグが必要。

### (2) コンセントの形

プラグタイプは C タイプ。ホテルによっては、コンセントの隣にインターネット用のプラグがあるものもある。

## 1-8 家具保険

該当情報なし。

## 1-9 その他

該当情報なし。

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料

#### (1) 一般事情

チュニジアはアフリカ大陸に位置しており常夏の国と思われがちだが、日本と同様に四季があり、冬はかなり気温が下がるため冬物衣類は必需品。夏場(6～10月)は日中 35 を超える。日差しが強いため、外出時にはサングラスが必要である。通常、日陰や屋内は比較的涼しく、過ごしやすい日もあるが、近年湿度が上がり、エアコンを必要とする日が増えてきている。特に 6 月～9 月は、昼間と夜間の気温の較差が著しいため注意を要する。

一方、冬場(12～3月)は気温が低く湿度が高い。暖房も必要である。市内には輸入衣料品を扱う店があるが、邦人のサイズにあうものは少ない。また、イスラム教国なので、女性が過度に肌を露出することは厳禁。膝が見えるミニスカートやノー Sleeves 等を普段着として着用することは避ける必要がある。

#### (2) 日本から持参の方がよい衣料

【男性】

下着類、ワイシャツ、背広、ブレザー、セーター、靴、雨具など。

【女性】

下着類、合服、ブラウス、スカート、スラックス、ブレザー、靴、雨具など。

### 【子供】

滞在期間中の成長にあわせ、各種のサイズを取り揃えておく必要がある。特にシャツ、ソックス、靴などは消耗が激しいため、多めに用意するとよい。

### 【乳幼児】

肌着、おむつカバー、寝間着などは持参したほうがよい。紙おむつはスーパーマーケットや薬局などで購入可能。おしり拭き(1パック=4.5DT)も入手可。

#### (3) 現地で調達した方がよい衣料

サイズや品質にこだわらなければ、たいていの衣類は揃う。スポーツシューズ(紐で結ぶタイプ)は種類も豊富で丈夫である。

#### (4) その他の留意点

該当情報なし。

## 2-2 礼装

### (1) パーティー

男性はスーツにネクタイ着用、女性はワンピースまたはドレス(またはスーツ)着用である。家に招待された時は、特別な服装をする必要はない。まれに日本大使館・領事館などで催される食事会などに出席する機会があるが男性はダークスーツ、女性はワンピースなどでよく、それほど正式な服装である必要はない。外国人同士のホームパーティーは盛んに開かれているが、この場合はカジュアルなスタイルでよい。

### (2) 式典

パーティーの場合と同様である。

### (3) 冠婚葬祭

チュニジア人の結婚式に招かれる際も、パーティーと同様でよい。葬儀は排他的な雰囲気ではなく、知人の家族が亡くなった場合など、邦人が葬儀に出席してもかまわない。葬儀への出席は、いたわりの気持の表れとなり、当地の人と親密な関係を持つよい機会でもある。ただし、墓地への埋葬だけは男性のみ立ち会うことが許される。服装は、派手な色彩でなければ、ふだん着のままで差し支えない。化粧はしない。

### (4) その他の留意点

穏健ムスリムの国であるため、若い人たちはヨーロッパ人と同様の服装である。ただし、女性はあまり挑発的な服装にならないよう心がけること。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1) 洗濯

家庭では、ヨーロッパ式のドラム型電気洗濯機を使用する。布の傷みが激しいため、洗濯ネットなどを持参したほうがよい。洗剤は輸入品も含めて各種あり、漂白剤も入手できる。ただし、色物用の漂白剤はない。12月、1月は雨が多く、洗濯物の乾きにくい時期である。ドライクリーニング店はたくさんあるが、仕上が

りは店により格差がある。信頼できる店を当地の知人に聞くとよい。

(2) 仕立て、修繕

完璧な仕上がりは期待できないが、仕立て代が安いので、セカンドスーツなどを仕立ててもよい。

(3) 保管

湿気の多いカルタゴやシディブサイドなどの海岸地帯を除き、乾燥しているので虫干しなどは必要ない。

## 2-4 美容院・理髪店

市内には多くの美容院があるが、きめ細かいサービスは望めない。技術者への説明に、日本のヘアカタログなどを持参すると便利である。料金は、パーマで 40 ディナールぐらいである。ローカル向けの理髪店は 4 ディナール程度からある。

## 3. チップ



### 3-1 チップ

基本的にはチップは必要ないが、高級レストランでは飲食代の 5-10%程度、ホテルのポーター等は荷物の量にもよるが 500 ミリムから 1 ディナール程度が適当と思われる。

## 4. 食生活



### 4-1 外食

(1) 一般事情

チュニス市内には、チュニジア料理をはじめ、フランス料理、イタリア料理、中国料理など多数のレストランがあり、外食に不自由することはない。

(2) 飲食店

邦人が比較的よく利用するレストランは次のとおりである。

#### 【フランス料理】

L'Astragale(ラストラガール)	TEL 71-890-455	7, Av. Charles Nicolle, Tunis
Strasbourg(ストラスブール)	TEL 71-241-139	100, Rue de Yougoslavie, Tunis
La Closery(ラ・クロズリー)	TEL 71-765-537	16, Sidi Fredj, Soukra, Tunis
Chez Nous(シェヌー)	TEL 71-254-043	5, Rue de Marseille, Tunis

#### 【シーフード料理】

Chez Slah(シェ・スラー)	TEL 71-258-588	14Bis, Rue Pierre de Coubertin, Tunis
Café Vert(カフェ・ヴェール)	TEL 71-736-156	68, Av. Franklin Roosevelt, Tunis

### 【イタリア料理】

Circolo Italiano (チルコロ・イタリアーノ)	TEL 71-281-302	02, Av. de la Liberte , Tunis
Il Ritrovo Degli Artisti (イル・リトロボ・デグ リ・アルティステイ)	TEL 22-975-532	12, Rue Med Triki, Ennasr 2, Ariana
La Tavolata (ラ・タボラータ)	TEL 71-829-202	Av. Hedi Nourira, Imen City RC2, Ennasr II
Brasserie (ブラスリー)	TEL 71-849-849	Hotel Maison Blanche 内 Av. Mohamed V

### 【チュニジア料理】

Dar El Jeld (ダール・エル・ジェルト)	TEL 71-260-916	Pres de La Place du Gouvernement
Essaraya (エッサラ-ヤ)	TEL 71-560-310	6, Rue Ben Mahmoud, Tunis
La Bonbonniere (ラ・ボンボニール)	TEL 71-840-887	7, Rue du 1er Juin, 1082 Tunis

### 【中華・日本・タイ料理】

<b>【中華料理】</b> Opium Club/Restaurant	TEL 71-965-466	Rue du Lac Lochness, Les Berges du Luc
<b>【中華料理】</b> Li Bai (リ・バイ)	TEL 71-774-500	Hotel the Residence 内
<b>【日本料理】</b> Kiotori (Lac 店)	TEL 71-964-342	Les Berges du Lac, Tunis
<b>【日本料理】</b> Kiotori (Marsa 店)	TEL 71-747-849	Avenue Ali Belahouane, La Marsa
<b>【日本料理】</b> Ben Sushi	TEL 71-861-117	Passage du Lac Volta, Residence Raoudha, 1053 Les Berges du Lac, Tunis
<b>【日本料理】</b> Origami	TEL 71-818-315	Avenue Hédi Nourira, Ennasr 2
<b>【タイ料理】</b> White Elephant	TEL 71-910-900	Hotel Regency, Gammarth

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

現地では、イスラム教の禁止品である酒と豚肉も含めて、洋食の食材についてはおおむね入手可能で、国産・輸入品が豊富に出回っている。市内には数多くのスーパーマーケットがあり、衛生管理・温度管理が行き届いている。特に肉と野菜は国産品が多く出回るようになってきており、日本よりも安価である。日本食材や調味料は、殆ど入手不可能なため、日本から持参したほうが無難。休暇などで日本に帰国した時に、できるだけ持参するようにする。

### (2) 主な食品の出回り事情

#### 【お米】

GEANT・カルフル・MONOPRIX などの大規模スーパーマーケットにて、タイ米やインド、パキスタン産のバスマティ・ライス等の長粒米(1kg=1DT 程度)や、リゾット用のイタリア米(1kg=約 5DT)が購入可能。La Marsa の日本料理店 Kiotori と同じ通りにある外国食品店 Fein Cost ではイタリア産ジャポニカ米「日の出米」(1kg=約 12DT)を販売している。

#### 【お酒】

イスラム圏ではあるものの、以下の限定された場所にて販売されている。購入先としては

##### 1) 酒屋

メイン通りではなく、裏手の倉庫のような店で販売。店内では、品目と値段表が掲示されている場合が多い。購入時は、黒いビニール袋のように内部の品物が分からない袋か、購入品を入れるバッグ等の持参が勧められる。無い場合には、袋代を取られることがある。

##### 2) スーパーマーケット

大規模スーパーマーケット(カルフル、GEANT 等)、大規模な MONOPRIX 店 (La Marsa 店等)には、酒類コーナーがある。しかし、お酒類は金曜日は外国人のみ購入可能で、多くの場合、ラマダン中は販売されない。

#### 【豚肉】

大規模スーパーマーケット(カルフル、GEANT 等)では、豚肉コーナーがある。MONOPRIX 店 (La Marsa 店等)でも販売している。

#### 【醤油&味噌】

La Marsa の Rue du 9 Novembre の通りのモスクの隣の外国食材店(店名なし)にて、時折キッコーマンの醤油を置いてあることがあるが 0.5 リットル 35DT (3200 円程度)と非常に高価。味噌は売られていない。La Marsa の日本料理店 Kiotori と同じ通りにある外国食品店 Fein Cost では日本の醤油、料理酒、みりん、わさび、海苔などを扱っている。日本製の味噌は日本から送るか、パリなどに出たついでに購入するしかない。タイ製の中国醤油、ナンプラー、オイスターソース等は MONOPRIX やカルフル、PROMOGRO で購入可。

### 4-3 食器、調理器具

#### (1) 食器、調理器具などの入手

和包丁、蒸し器、茶碗、お碗、はし、はし置き、急須、重箱、すり鉢などの和食器はない。洋食器は WEDGWOOD などのヨーロッパの一流品から、無名の安価なものまで出回っている。台所用品もあらゆるものが売られている。

台所用の家電製品は、冷蔵庫、トースター、ホットプレートなど、ほとんどのものがある。ただし、台所用品は家電製品とともに住宅に設備されていることが多いので、前任者などから事前に情報を入手しておくといよい。

電気製品を日本から持参する場合は、変圧器も一緒に持参すること。食器は特にブランドにこだわらなければ、スーパーマーケットや、一般の雑貨店で揃う。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

和食器は前任者から譲り受けるか、必要に応じて日本から持参することが望ましい。

## 5. 生活用品の購入



### 5-1 家電製品

大規模スーパーマーケットのカルフルー、GEANT で基本的な物については、購入可能。

### 5-2 家具

該当情報なし。

### 5-3 日用品・雑貨

大規模スーパーマーケットのカルフルー、GEANT で基本的な物については、購入可能。

### 5-4 工具・素材

大規模スーパーマーケットのカルフルー、GEANT で基本的な物については、購入可能。

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

外国人は外国人口座 (CED: Compte Etranger en Dinar) を開くことができる。よく利用されている銀行は、Banque Internatinal Arabe de Tunis 銀行 (BIAT銀行 Mohamed V 支店) である。外貨の引き出しなどに慣れている。

日本から現金を持参し、チュニジアで開設する銀行口座に入金する場合には、入国時に税関で申告することが必要。申告時に受け取る証書は、銀行口座入金時に必ず必要になるため、必ず入手すること。

#### 換金方法・換金場所

- ・空港内両替所: 毎日 (日曜日、祝祭日も可)
- ・ホテルの両替所: 毎日 (交換額に限度あり)
- ・チュニジア・ディナール現金を空港の銀行で外貨に両替するには、過去に両替した時の伝票が必要。同伝票は、
  - 3ヶ月以内のもの
  - 本人の名前が書いてあること
  - パスポート番号が入っていること(両替時にもらう伝票 (計算書) には、名前やパスポート番号が記入されていることを確認。)
- ・口座のある銀行で外貨へ両替する場合、AUTORISATION DE SORTIE という書類に記入

記入に当たって下記の情報および書類が必要。

パスポート(なくても PC に登録されているので探してくれるが)

渡航先国

口座番号

なお、帰国時のドル持ち出し限度額は、申告してある外貨は全額持ち越し可能だが、再両替の場合(ディナールからドルへ)は両替した金額の 30%のみ。両替証明書の提示を要求され、しかも 1000 ディナールまで。

## 6-2 使用できるクレジットカード

VISA、MASTER とともに広範囲で利用可能

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

国内の主要幹線道路は一応舗装してあるが、チュニス～スファックス(チュニスから南東へ約 270km のチュンジア第二の都市)やチュニス～ベジャ、チュニス～ビゼルト間の高速道路を除き、路面の状態はよくない。特に路肩の崩れ、雨の日のスリップには注意を要する。

主要都市間には、長距離列車、バス、タクシーなどの交通手段があり、広く人々に利用されている。列車はほぼ定刻に発車するが、到着時間は一定していない。そのほか、ルアーージュと呼ばれている乗り合いの長距離自動車があるが、安全性の観点から、利用は避けること。

飛行機は、チュニス(カルタージュ空港)、モナスティール(ハビブ・ブルギバ空港)の各国際空港から、ヨーロッパ、中東の主要都市へ毎日運航している。また、国内主要都市へも、チュニス国内航空(SevenAir)が運航している。

船舶は、ラ・グーレット港から地中海クルージングなどの観光客船が出ている。

市内バスが数多く走っているが、表示がアラビア語であり大変わかりづらく、スリなどの被害に遭う可能性もあり利用は勧めない。タクシーは、運転手によってアラビア語しか通じない場合があるので、短期滞在者等は流しのタクシーを利用せず、ホテルなどでリムジンを手配してもらうほうがよい。在留邦人がよく利用するのは、アロータクシー(電話:71-783-311)と呼ばれる無線タクシーで、自宅から電話で呼べるので便利である。ただし、流しのタクシーより割高である。

#### (2) 空港から市内への移動

##### 交通手段

タクシー利用が一般的である。空港 1F のタクシー(料金は高め)の他に、2F に移動すればメーター制の流しのタクシーも手軽に利用できる。流しのタクシー料

金は、2010年10月現在、初乗400ミルーム、夜間9時より50パーセント増し。チュニス市内であれば、大抵10ディナール以内で行くことができる。

### (3) 自家用車を利用する場合

チュニジアでは、在留邦人は運転手を雇用せずに自ら自動車を運転するケースが殆どである。

整備不良車両(制動灯がつかないなど)の走行、方向指示器を出さない、信号無視、一時停止無視、割り込み、無理な追い越し、スピード違反、一方通行違反などは日常茶飯事であり、事故は多発している。すべての状況において「自分には優先権がない」と思うことが、事故を回避する最善の策である。

郊外を走るときは、車はもちろん、人間、家畜(牛、馬、羊など)の飛び出しに気をつけなければならない。特に、小学生の登下校時には、子供たちが道路にあふれんばかりに歩いており、危険である。人や動物を認識した時点で徐行すること。

一部高速道路を除き、道路の状態はよくない。砂ぼこりが多いため、特に雨の降り始めは非常に滑りやすい。スリップを起こさないよう徐行運転し、急制動はしないことが肝要である。

信号は、停止線のすぐ脇に設置されており、非常に見づらい。後続車がクラクションを鳴らして合図するのが慣例になっているが、必ず自分の目でも青になったかどうかを確認すること。また、歩行者は信号に関係なく横断するため、要注意である。

車線は引いてあるが、それに従う車は少ない。停止線は消えていることが多く、確認できない。

チュニジアの自家用車運転で、特に注意を要する点は、以下の通り:

#### 1) 通過と優先順位(ロンポアン(ロータリー)、カルフル(交差点))

ロンポアンについて下図1のようにロンポアン進入する場合は進行方向(抜ける方向)に合わせてロンポアン内の内側(B)・外側(A)車線を選ばなければならない。右折または直進方向の場合は外側車線(A)を、左折方向の場合は内側車線の(B)を走行しなければならない。また優先順位は図2のように進入条件が同一であれば、ロンポアン内は左側優先であり、走行している3番の車に優先権がある。

図1

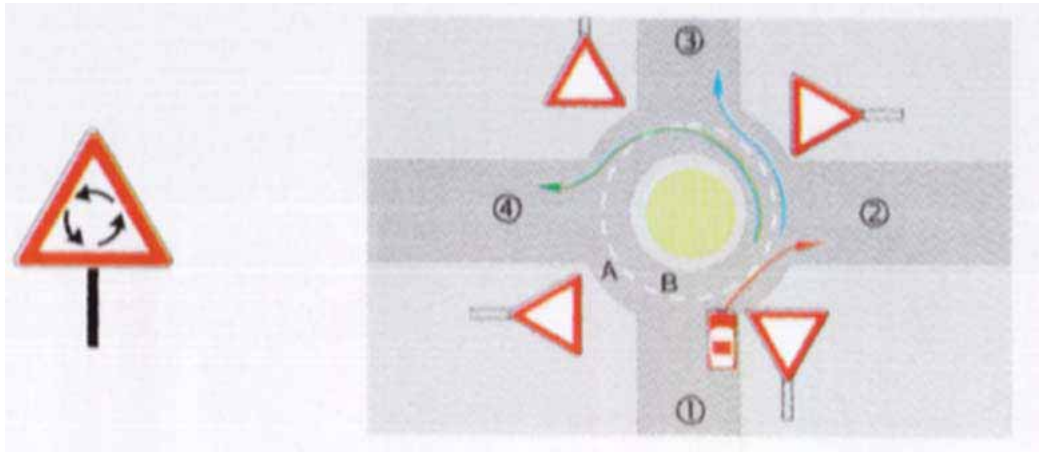
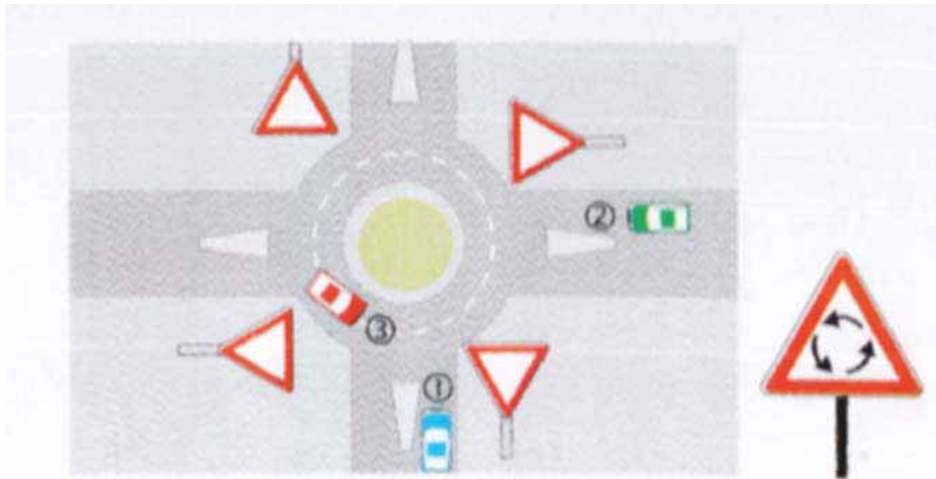


図2



2)カルフル(交差点)について

信号機や下記のような標識(図3)にしたがって交差点を通過する。一般的に右側より進入してくる車が優先となる。また左折車は直進車の進路妨害をしてはならない。交通法規を守って運転するドライバーだけではないので、予測できない状況も想定して、十分に速度を落として交差点に進入する。対する車においてはドライバーの顔をよく見て行動を予測する必要もある。

図3

標識	説明	標識	説明
	優先権を譲る		三叉路、右側優先
	一般交差点、右側優先 (第二級道路)		次の交差点、優先権あり (第二級道路と交差あり)

	危険な交差点、右側優先(第二級道路)表示文字: (DANGER)		次の交差点、優先権あり (第二級道路右側より進入)
	危険な交差点、右側優先 (第一級道路)表示文字: (DANGER, PRIORITE A DROITE)		次の交差点、優先権あり (第二級道路左側より進入)
	危険な交差点、優先権あり(第一級道路)表示文字: (DANGER, PASSAGE PRIORITE)		優先道路

### 3) 信号機の見かた

日本の信号機と大きな違いは青(緑)色の点滅がある。この点滅で信号の変ることを察知し、速やかに交差点を通過する。時にこの時点で止まる車もあるので追突には注意が必要。

黄色信号では停止線前で停止できるようスピードを落とす。既に交差点内に入っていたり、安全に停止線前に停車できなかつたりした場合は速やかに交差点を通過する。

赤信号では停止線手前に停車すること。一般的にチュニジア人は警察官がいる所では、信号機の変化に敏感に反応する。法規以上に停車のタイミングが早い。警察官が手信号による交通整理を行っている場合はそれが信号機より優先されるので警察官の動作に注意をすること。交通量が少ない時や、警察官がいない所では信号による指示を守っているとは思えない時もしばしばあり、当方側が青でも注意することが必要である。

### 4) 運転時の必携書類及び必携物

運転免許証 (国際免許証の有効期限は発効日より1年)

車の登録証 Carte grise (カルト・グリーズ)

特別通行証 Carte bleue (カルト・ブルー) (  (旧 RS)ナンバー登録車のみ)

納税済証 Vignette Auto (ヴィニェット・オート)(毎年支払い、  ナンバー無料)

車検証明書 Certificat de Visite (セルティフィカ・ド・ヴィジット)(新車の場合、初回車検は3年目、その後、毎年車検を受ける。)

保険証書

緊急連絡先電話番号(保険会社) (\*  はアルファベットでNTとなる。)

携帯電話(十分に充電済みのもの)

(4) レンタカーなどを利用する場合

空港や主なホテルには必ずレンタカーの出張所があり、気軽に利用できる。料金は車種にもよる。業者には Avis、Hertz、Budget などがある。

(5) 道路地図

ガソリンスタンド、キオスク、スーパーマーケットなどで各種道路地図を入手できる。チュニス市内のくわしい地図は、観光局(空港内および Place 7 Novembre のオフィス)で、無料で入手できる。

## 7-2 交通事故

(1) 対処方法

後続車による追突事故が多発している。事故の際は、必ず相手に保険証を提出させ、示談書を作成すること。負傷者が出た場合は、病院へ運び、診断書をもろうと同時に、警察へ連絡して事故証明を発行してもらおう。対物損害のみの場合は、警察は関知しない。

また、保険会社へ連絡し、示談書をもとに事故部分の写真撮影などの手続きを行う。幸い、邦人は比較的慎重に運転するため、大事故の例はない。前述のとおり、さまざまな事態が起こり得ると考えて運転するのが賢明である。

対処法(処理、手続き)

1) 身分証明書、保険証明などの交換を行う。

2) 事故合意調査書の作成

1カ所も欠かさずに事故示談検証書を2部作る。簡単な説明、略図、また印を付けた項目数の記入を忘れずに、運転者Aは青色、運転者Bは黄色を作成する。保険会社に電話、あるいは直接24時間以内に連絡する。

交通事故に巻き込まれたすべての運転者は、それ以上の障害を起こさぬよう、あるいは交通の妨げにならぬよう必要にして十分な注意を払って、ただちに停止しなければならない。そして交通を妨げ、また二次災害を起こさないよう車線から車両を移動させなければならない。

3) その他注意点

運転者不在の駐車車両、チュニジアの公用車、あるいは道に設置してある設備に物理的損害をもたらした事故に限って、ただちに警察、あるいはガルドナショナルに連絡する必要がある。

当人同士の事故では事故証明の記載、および署名に関する手続きが必要となる。また事故が死亡、あるいは傷害を起こした場合には、警察、あるいはガルドナショナルに連絡する必要がある。特に、各当事者の責任を決める要素になる現場の状況を変更するすべての行為、あるいは痕跡を消し去ること避ける。

## (2) 救急病院

Polyclinique Taoufik(シェラトンホテルのそば)...電話:71-288-211

救急車(電話:190)を呼んでもよいが、必ずしもの確な処置が受けられるという保証はないため、Polyclinique Taoufik の外来急患受付に、車で駆けつけるほうが確実。この場合、フランス語の堪能な人に付き添ってもらったほうがよい。

## (3) 盗難

昼夜を問わず車上荒らし、カーステレオなどを盗まれる被害が増えている。夜間は必ず自宅の駐車場に入れること。またアラーム等の防犯機器を設置することが望ましい。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

車両は右側通行である。フランス式ロータリー(ロン・ポワン)は、最近ではヨーロッパ方式でロータリー内を優先にする(すなわち左側)方となったため、注意が必要。また、交差点中央まで出て左折するシステムはない。左折専用信号・車線があるので、注意すること。

制限速度は都心部で約50km/h、郊外で約70km/hである。

市内で駐車違反をすると、サボーと呼ばれる車輪止めをつけられるかレッカー移動されて、罰金を支払うまで動かせなくなる。外出先では指定のパーキングに駐車すること。

事故が多いせいか、市内、郊外ともに警察官が多く、取り締まりはよくある。違反などで警察官のチェックを受ける際は、免許証、車検証、定期点検証、保険証の提示が求められる。

### (2) 対処方法

警察官には逆らわず、素直に従うのが得策である。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

プジョー、ルノー、ベンツ、アウディ、トヨタなど、代理店のある車であれば、たいていの部品は入手できる。ウインドウガラスは、規格品がない場合でも、ガラス業者に発注すれば容易に作成できるが、ゆがみがあるためパワーウィンドウには不向きである。

### (2) 修理工場

各種代理店直系の修理工場を利用するとよい。日本車はまだ少ないが、トヨタの代理店がある。そのほか、個人経営の修理工場もある。個人経営の修理工場の場合、細かく分業化されているために、オイル交換を依頼してもオイルは持ってきたかと聞かれるケースがある。

### (3) 車検 (Visite Technique)

新車の場合は3年目、その後は年に一度車検を受けることが義務付けられて

いる。その時に発行される CERTIFICAT DE VISITE に車検の有効期限が明記されているので、次回はその期日までに車検を受けて有効期限が切れることがないように注意をする。

車検は車検場に出向いて検査ラインを通して保安関係の点検をうける。従って受検前には十分に整備をしておく必要がある。

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

首都において、通信状況は良好であり、ダイヤル国際電話も容易である。電話の新規設置は、申請から早くても2週間、地域によっては3~4カ月かかることもある。また、現在では、プリペイドの固定電話が広く普及している。

#### 【電話のかけ方】

##### ・国際電話

日本へは、00 81(国番号) 最初の0をとった市外局番 市内局番の順でかける。

通話状態はよい。

##### ・固定電話

公社名は Tunisie Télécom(チュニジ・テレコム, <http://www.tunisiatelecom.tn/>)。固定電話には、別途説明のプリペイド方式と、請求書支払い方式がある。請求書方式を選択した場合には、毎月請求書が届き、支店等で支払する。

プリペイド方式は、チュニジ・テレコム、又は街中のキオスク、Publitels、Publinets、Publipostes、及び郵便局等にて、20、30、50DTのチャージカードを購入、チャージをすることにより通話が可能。カードの購入時には、固定電話用以外にも、携帯電話用(チュニジアナ社、チュニジ・テレコム社)の携帯用のカードを渡すことがある。またカードには有効期限(6ヶ月)があり、有効期限が経過すると自動的にキャンセルされるため、小まめに買ってチャージする方がよい。

簡単な無料の通話で残度数は確認でき、チャージを忘れると、2ヶ月間以内は案内電話で制限を超過している事がアナウンスされるが、その猶予期間を過ぎると、回線は中断される。された場合には、支店に赴き、回線復旧の手続を行うことが必要。

##### ・携帯電話

ヨーロッパ規格のデジタル携帯電話方式である GSM サービスと、それ以前にサービスを開始したアナログ方式の改良版である RTM サービスに加え大都市圏に限り本邦と同規格の第3世代3Gサービスがある。GSM サービスは、ほぼチュニジア全国を網羅しており、RTM サービスも、全国どこからでも通話が可能とされている。ただし、山岳地帯、内陸部の盆地などでは、通話が困難なようで

ある。

また固定電話と同様に、プリペイド方式と請求書支払方式があり、プリペイド方式で度数がゼロになると、受発信が不可能となるため、注意が必要。

Tunisie Télécom (<http://www.tunisiatelecom.tn/>)、Tunisiana

(<http://www.tunisiana.tn/>)とOrange(<http://www.orange.tn/>)の3社が事業を展開しており、FONO等の代理店や各支店で申し込み可能。申し込み時にはパスポートが必要。

## (2) FAX

### 一般事情

ファクシミリは普及しており、全ての官公庁に備えられている。主なホテルでも、ほぼ完備。また、市内では、多数のTaxi Phoneと呼ばれる公衆電話ボックスで扱っている。日本までは1枚8DT(2008年5月現在)

## (3) テレックス

該当情報なし

## (4) 電報

Tunisie Télécom から打つことができる。

## (5) インターネット

プロバイダーは多数あり、利用可能。主なホテルにはビジネスセンターがあり、コピー、タイプ、ファックス等のサービスを行っている。パブリネットと呼ばれるインターネットカフェ同様の店が市内に点在している。民間のプロバイダー(ISP)が多数あり、申し込みは簡単である。ADSL契約についてはTunisie Télécomと回線契約(25DT/月)を行った後、ISPに申し込む。ISPはサービスにより異なるが月15から35DT程度。回線速度は2010年現在で最大8Mbps。また、2010年よりフランス系プロバイダーOrangeが参入し、3Gインターネットサービスを開始している。3Gデータカード(100DT前後)を購入し、モバイルインターネットを利用することが可能(約30DT/月)。通信速度は7Mbps。チュニス市内および近郊、ハマメットなどでは問題なく使用可能だが、それ以外の山岳地帯、内陸部はまだカバーされていない。

### 代表的なプロバイダー

TOPNET URL:<http://www.topnet.tn/>

PLANET URL:<http://www.planet.tn/>

3S GLOBAL NET URL:<http://www.gnet.tn>

Orange URL:<http://www.orange.tn/>

## 8-2 郵便

### (1) 一般事情

到着まで日数がかかる(特に小包)ことがある。到着が遅れているようであれば、自分で小包取り扱い郵便局へ出向き、調べてもらう。内容物はフランス語で記入すること。

日本～チュニジア間の郵便物は、通常1週間から10日ぐらいで届く。チュニジアから日本へ郵便を出す場合、宛名などはローマ字表記がよい。また、目立つ封筒などは事故が起こりやすいため、使わないほうがよい。日本への国際ビジネス便(EMS)は、1kgまでが35ディナールと割高ではあるが、信頼できるものであり、所要日数は5日～1週間ぐらいである。

日本から大事なものを発送する場合は、書留で出してもらおうとよい。

#### (2) 課税

食料品は課税対象にならない。免税手続きの必要がない荷物は、到着後、約1週間以内に引き取りができる。内容品の欄には、電化製品でなければAlimentation(食料品)と記入しておくとうい。一般航空便を利用する際もほぼ同様であるが、この際はインボイスを日本から送ってもらうとうい。

## 9. コンピューター



### 9-1 コンピューター

モバイルコンピューターの利用

コンピューターの持ち込みは可能。ただし、電圧220Vであるため、電気製品の使用の際は注意が必要。100V-110V、100V-220Vの変圧器は当地では入手できないので留意すること。

OSはWindowsが多く使用されている。市内でも代理店やカルフル等の大規模スーパーマーケットで簡単に購入可能である。扱っているソフトは、フランス語バージョンとアラビア語バージョンのみなので、日本語のソフトを持参する必要がある。

## 10. 職場環境・勤務条件



### 10-1 職場環境・勤務条件

一般的には金曜日および土曜日が半日、日曜日が終日休み。また、ラマダン期および夏期(7月、8月)の勤務時間は8:00～14:00である。

・官庁 8:30～17:45(休憩時間 13:00～15:00)

ラマダン期および夏期(7、8月)の勤務時間は8:00～14:00

・銀行 8:15～16:00

・商店 9:00～22:00(スーパーマーケット)

## 11. 出入国手続



### 11-1 入国時

(1) 入国手続書類

通常、入国カードは機内で記入しておく。5000DT相当額以上(約3500ドル相

当)の外貨については、税関で申告することになっているが、あまり厳密には行われていない。ただし、着任後、私用車を購入する場合は、持ち込み外貨の申告を行っていないと銀行口座に入金できず(車の売買に関する金銭の動きは銀行間の振込みが原則)、トラブルとなることがあるので、多額の場合は申告しておいたほうがよい。

## (2) 入国審査

記入済み入国カードをパスポートに添えて、審査官に提出する。入国目的と宿泊先を聞かれることが多い。

当国は観光立国であるため、審査はさほど厳しくなく、心配には及ばない。入国時は、査免取り決めによりビザは不要である。ビザ欄にスタンプが押され、入国カードの半券を渡される。一般観光客は、出国の際、同半券を求められる。長期滞在者は、滞在許可証を入国から 3 カ月以内(観光ビザの期限)に取得することになるので、この半券は不要となる。

日本人による滞在許可証の取得には、次の書類を最寄りの特別警察(Police Spéciale)に提出して発行してもらう。

- ・所定の申請用紙(2 枚組、警察にある)
  - ・配属省の労働契約書もしくは証明書
  - ・登記、サイン証明を済ませた住宅契約書
  - ・顔写真 4 枚(更改時 2 枚)
  - ・パスポートのコピー(写真のページ、入国印のページ)
- 滞在許可証の受け取り時には次のものが必要である。
- ・パスポート
  - ・10 ディナールの収入印紙(Timbre Fiscal)

滞在許可証発行時、パスポートのビザ欄に、滞在ビザ印と出国無税印が押される。

これは 1 年のみ有効なので、更新する必要がある。受け付けは期限 1 カ月前である。

## (3) 税関検査

タバコ、酒などのチェックはほとんど行われていない。医療機器、薬品(診療目的のもの)、電化製品を持ち込む場合は課税されるが、税関で持ち出しを条件に申告すれば、免税となる。

## (4) 空港内での留意点

写真撮影は禁止である。

## (5) 空港からの主な交通手段

空港を出てすぐ左側に、空港タクシー乗り場がある。チュニス市内までは約 15 分、料金は約 3~6 ディナールであるが、空港タクシーは、乗車前に料金の交渉が必要である。また、空港タクシーの初乗り料金は、市内より高く設定されている。

空港の敷地から客を拾うことができるのは空港タクシーのみであり、メーター制

の一般タクシーは客を送り届けた後、空車のまま空港を出ていくことになっている。したがって、競争相手がいないため、料金を高く言うことがよくあるので注意すること。実際には、空港 2F の出発ロビーで一般タクシーを拾うことも可能であり、この場合メーター制のため料金交渉の手間が省ける。

#### (6) その他の留意点

市内までの空港タクシー代など、必要最小限のお金は、税関前に空港内の両替所で換金しておくといよい。

### 11-2 出国時

#### (1) リコンファーム

必要なし。但し、チュニスエアー (Tunis Air) を利用時には、リコンファームすることが望ましい。

#### (2) チェックイン

国際線フライトは出発時刻の 2 時間前(エミレーツ航空の場合は 3 時間前)までに、国内線フライトは 30 分前までにチェックインする。

#### (3) その他

出国審査の際、抜き打ちで外貨検査が行われることがある。前もって、銀行で外貨持ち出し許可証を発行してもらおうといよい。ただし、これは自分の外貨口座から換金したときにしか発行されない。心配な人は事前に日本へ送金することが望ましい。

### 11-3 帰国手続

#### (1) 帰国時に必要な事務手続

当然のことながら電話料金などの清算を必ず済ませること。そのほか、銀行口座の閉鎖やチュニジア政府発行の滞在許可証の返却などをする。

#### (2) 車の処分

車は後任者などに売却することになる。口コミで知人に売るなどの方法がある。

#### (3) 家財道具の処分

多くの場合、家電製品や大きな家具は住宅の備品であるため処分の必要はないが処分する場合はガレージセールを開くとよい。高く売れることは期待せず、最初から安く設定しておいたほうが売れ残らない。

日本に持ち帰る場合は運送会社に依頼する。コンテナによる移送は通常を行う場合、海送業者(複数)から見積を聴取し、契約することが望ましい。

海送業者の中には、自宅における梱包作業補助、梱包用のカートンの提供、指定場所(多くの場合ラダス)までの陸送、通関書類の作成、コンテナへの積載作業、通関手続き、仕向地までの海送、保険手続、仕向地における通関業務、陸送、といった「ドア・ツー・ドア」の一連の作業を請け負う業者と、もっぱら ~ までを行う海運会社とがあり、当然のことながら、前者(引越業者)の場合が後者(海運専門会社)よりも割高である。

上記のように食器等の割れ物専用のカートンや衣類梱包専用のカートンを提供し、さらに梱包まで手伝ってくれるシステム(日本の日通等にみられる引越パックに近い)になっている。後者の場合は、保険手続も別途自分で行う必要があるほか、引越用のカートンを自分で準備する必要があり、経費が安く済む一方で荷主側の時間と作業量が多い。

主な引越業者および海送業者は、以下の通り:

No.	会社名(電話番号、住所)	担当者	備考
1	引越業者 DEMENAGEMENT JAF Bureau Central: 4,r. de la Nouvelle Delhi, 1002, Tunis Belvédère TEL 71-906-446 TEL 71-903-128 FAX 71-908-517	Mr.Moumen Anis (Manager Assistant)	「ドア・ツー・ドア」のサービスあり 日本大使館でも使用(信用度高い) カートン提供あり、梱包作業手伝いあり 割高 必ずしも「ドア・ツー・ドア」のサービスではなく、仕向港までの契約内容とすることもできる。
2	海送業者 TTC La Méditerranéenne de Transport Transit et Consignation Essaada,bloc D, App.5 Rades 2040 Tunisie TEL:79-459188 98-373576	Mr.Saafi Neji (Gérant)	仕向地での通関、陸送なし(別途到着港で手配する必要あり) 自宅からラデスまでの輸送は可能(ただし、荷主が梱包すること) 積出港(ラデス)でのコンテナへの積載作業、通関手続き、仕向港までの海送請負が契約内容となる 保険加入別途必要 比較的割安 <b>注:下記のとおり</b>

注:因みにカートンはメディナの中でも一個あたり 800 ミリームから1ディナール程度で売っている。また簡単な内容リストを作る必要がある。

#### (4)住宅の明け渡し

契約期間中に住宅を後任者に明け渡す場合は、その旨をオーナーに報告しておけば問題はない。契約期間切れで明け渡す場合は、契約書に記載されたとおり通常 2 カ月前にその旨を家主側に報告し、最終日に家主に鍵を返却する。デポジット(保証金)を払っている場合は、契約終了直前に家主が家の内部を検査し、備品の破損などに対する必要経費を差し引いた額が払い戻される。

#### (5)外貨持ち出し規制

ドル持ち出し限度額は、申告してある外貨は全額持ち越し可能だが、再両替の場合(ディナールからドルへ)は両替した金額の 30%のみ。両替証明書の提示を要求され、しかも 1000 ディナールまで。また、高額を所持する場合はトラベラーズチェックが無難。

## 12. 治安、緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 テロ対策等

一般的な治安状況は良いものの、2006年12月23日と2007年1月3日の2回にわたり、首都チュニス南部近郊において、治安部隊と武装集団との銃撃戦により武装集団のうち14人が死亡、17人が逮捕されるという事件が発生、この武装集団はイスラム過激派であるとの見方もなされている。また、現在チュニス市内及び諸主要都市間を結ぶ幹線道路では警察による検問が強化されている。

また、南部のリゾート地ジェルバ島で2002年4月にアル・カーイダが関与したとされる自爆テロにより、外国人観光客等21人が死亡する事件が発生して以降、テロ等の発生はなかったが、今後ともこうした事案が発生する可能性は排除できない。

テロ事件や不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の関連情報の入手に努め、テロの標的となる可能性がある施設等の危険な場所にはできる限り近づかない、大勢の人が集まる場所では警戒する、周囲の状況に注意を払うなど安全確保に十分な注意を払うこと。そして、テロや不測の事態に巻き込まれることのないよう、安全対策に努めること。

#### 【テロ等予防策】

目立たないように行動する。

不審者、不審車両、不審物の有無を確認する等周囲を十分警戒する。

日常の行動パターンを意識的に変える。

群集心理により不測の事態が発生する可能性があるため、集会、デモ等が行われている場所には近づかない。

乗車前には、車体の姿勢や車体の底、ボンネット等不審点がないか確認する。

爆発物の不審物件が置かれないように自宅等の環境整備に努める。

不審物を発見した場合は、「触らず、動かさず、蹴飛ばさず」警察等に通報する。

米、英、仏、西等の権益等テロの標的となる可能性のある施設や多数の外国人が集まる場所では、当該施設の安全対策の状況を確認して利用する等十分注意する。

#### 【発生時の措置（テロ情報に接したら）】

基本的に自宅や避難場所に待機する。

邦人の知人宅に安否を連絡する。

外出時に事件に遭遇した場合、遮蔽物の物陰に隠れる。

遮蔽物がない場合、体を伏せ、移動するときは腹ばいや体を回転させる。

流言、デマに注意する。

不幸にして被害に遭った場合、直接大使館領事に連絡、負傷している等直接自分で連絡ができない場合等は、病院関係者等に連絡依頼する。

## 12-2 交通事故対策

チュニジアでは、全国の道路網が発達しており、各種車輛が数多く通行している。しかし、タクシー・バス等の公共交通機関を含めて、一般的な運転マナーは悪く、同乗している際にも注意が必要。**安全移動のためには、以下の点に留意すること。**

### \* タクシー・レンタカー利用時:

利用前に車輛を確認。整備がされていない様に見える車は、概して運転手の運転が荒いケースが多い。

タクシー同乗中に危険を感じた場合には、迷わず車を停止させ、別のタクシーに乗車することを勧める。

利用前に、行程を運転手と確認する。特に、長距離の行程の場合には、2時間に一度は必ず休憩を取る等、ゆとりのある行程を組むことを勧める。

特にラマダン中は、日の出より日の入りまで、飲まず食わずの状況が一ヶ月続いたため、運転手も疲労困憊な状況。また、他の運転手も同様な状況のため、ラマダン時期には交通事故が多発する。くれぐれも、ゆとりのある行程を組むと同時に、同時期における不要不急の長距離移動は控えることを勧める。

### \* 道路の横断

ここは車優先の国といわれるが、事実は運転する人が横暴であるだけで本当は優先ではない。歩行者はそれでも目的地に行かねばならないので高速道路でも横断している。信号の無い場所では、まずは十分待って渡ることが重要。また大きな道路の横断の時、上下線の中央分離帯のあるところを選び、近くならそこまで移動してでも、片側車線毎に渡っていく方法をとる(それでも車が途切れたとき、反対方向から(逆走の車が)走ってくるなど思いも掛けぬところから車が来るので油断できない)ことも必要。

信号機は時間帯によっては点滅信号(注意して進めの意味)や、見えにくいものや故障で機能していないものもある。とにかく故障していることを前提に確かめる必要あり。車輛は、信号無視や標識無視を不通に行うので、よく確認して渡ること。

### \* ロンボアン付近(英語名;ラウンドアバウト)

この近くで横断するとき、廻ってくる車は分岐線ごとに信号を出さないので、車の切れ目で横断するのが安全。

### \* 街路(歩道)の上、下(足元)にも注意

歩道は上(空、窓、工事中)、下(足もと、工事中)を確認して歩くこと。下は特に凹凸があったり、溝蓋が壊れていたり、ひどいのは蓋さえないところがある。また路面が濡れているときは用心。掃除の水か、クーラーの凝縮水がたれ落ち

て来る。時には、駐車しようと歩道に急に乗り上げて来る横暴な車もいる。

#### \* バス利用時: 転倒防止、すり予防

乗り越し防止: 公営バスでは乗車して切符を買ったら前方に移動して、目的の停留所に近づいたら合図し、止めてくれるので降りるのが通常の乗り方。しかし、出口が混み合うときの移動は、「すみません」と日本語で言っても意図が分ってくれるので都合がいい。乗ったらとにかく何かにつかまることが。ほとんどの公営バスは運転が荒いので普通には手ぶらで立って居られない。料金を払うとか移動したいとき、とにかく何かをつかまえておかないと転倒する可能性大。

満員のときは無理に前方に行かなくとも、乗車口付近で待ち、車掌(切符売り)に言って後ろから降りることも出来る。また、車内を移動するとき触れ合うので、すり被害や乗り越し防止にもなる。

### 12-3 一般的犯罪について

チュニジアは比較的治安が良いと言われ、日本人の犯罪被害は多くないが、近年、犯罪が増加する傾向にあるので注意が必要。犯罪被害の大半はスリ、置き引きなどだが、数は多くないものの強盗事件も発生している。特に、日本人旅行者の所持品(多額の現金の他、デジタルカメラ、パスポートなど)は犯罪の標的になりやすく、注意が必要。また最近では、携帯電話の盗難が多数報告されているため、携行時及び使用時には注意を払うことが望ましい。

#### 【とるべき安全対策】

「目立たない」: 華美な服装、装飾品、高価な品物を持ち歩かない、公共の場で国の悪口を言わない、夜間の外出を避ける等。

「行動を予測されない」: 移動経路、移動時間を変える等。

「常に用心を怠らない」: 大使館、警察、病院等の電話番号は常に控えておく。

無理のない移動計画(自動車による連日の長距離移動や、ラマダン時の長距離旅行は避ける)、移動時の確認(車両整備点検、現地運転手を使用する際の留意点等)等を行う。

### 12-4 ラマダン期間中の注意事項及びその他

#### 犯罪被害防止

ラマダン前後は、何かと買い物等で街中に出る人々が多くなり、窃盗等の財産被害が増加する傾向にある。特に下記の点に注意すること。

- ・必要以上に金目のものを持って出歩かない。
- ・貴重品は、できるだけ身に付ける。
- ・バック等は肩からタスキがけにする。
- ・人気のないところは避ける。

### 交通事故防止

国民の多くは、ラマダン期間中の一ヶ月間、日の出より日の入りまで、一切の飲食(水を飲むことを含む)と喫煙を控えている。あと少しでイフタール(夜の食事のこと)という夕刻には、空腹のため家路に急ぐ人の運転が荒くなりがちである。また、イフタール後は、深夜遅くまで街に人出があるためにドライバー、歩行者ともに交通事故防止には十分留意すること。

・**ドライバー**... 前後左右の車両がどのような動きをしても対応できるよう、車間距離をあけて運転する。(相手の車が、不意に前に飛び出してきたら、と予測して運転する。)

・**歩行者**... 道路を横断する時は、信号が青でも、再度左右を確認する。(赤信号でも車・バイクが飛び出してくる時がある。)

禁止されている言動(タブー)

・大統領府、軍・警察関係施設、空港、鉄道等の公共施設、その他重要防護対象施設及びモスク内部の撮影は禁止されている。警官が独自の判断でカメラやフィルムを没収することがあるので、注意が必要。

・イスラム教徒でなければ宗教的行為(1日5回のお祈り、断食月など)を強制されることはないが、断食月中の公共の場での飲食・喫煙は控えるなど、イスラム教に対する理解を示し尊重することが必要。

最新安全情報

最新情報は以下のサイトで確認のこと。

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>(外務省「海外安全ホームページ」)

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

イスラム国家とはいえ、前大統領からの近代化政策の影響および観光立国であることから、ほかのイスラム国家とは比較にならないほど開放的で、市内ではミニスカートの女性を見かけるほどである。ただし、年輩の人には、かなり宗教的に厳格な人も多いので注意すること。神経質になる必要はなく、とりたてて派手なことをしなければ、問題はない。

### 13-2 パーティーでの留意点

外交団、政府機関関係のパーティーは、欧米とほぼ同様である。チュニア人主体のパーティーでは、酒類の出ないことがある。

### 13-3 来客時の留意点

チュニア人を招く場合は、ほとんどがイスラム教徒であるので、豚肉および調味料に酒類を使った料理は出さないように留意すること。

#### 13-4 訪問時の留意点

日本の伝統的な小物など、心のこもったプレゼントが喜ばれる。また、チュニジア人の家庭から招待を受けた場合は、約束の時間よりも 10～15 分ぐらい遅れて行くのがエチケットである。

#### 13-5 禁止されている言動 (タブー)

チュニジアの文化・習慣を非難するようなことは差し控えるべきである。

#### 13-6 日本人会

会員数は、現在、個人会員が約 100 名である。入会金は 10 ディナール、年会費は前期、後期それぞれ 30 ディナール。入会希望者は役員まで連絡する。年間行事として、6 月にバーベキュー、10 月に遠足、12 月にクリスマス会、3 月にバーベキューを実施している。

#### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

1991 年に結成され、現在会員数は約 160 名である。会長は、M.Youssef HAMDI(地理測量公社総裁)である。

#### 13-8 現地人との交流

該当情報なし。

## 14. 教育



#### 14-1 教育事情

赴任時に、当地での子女の教育が必要になる場合には、事前に関係する学校等に連絡を取り、連携を取る事を推奨する。特に、赴任前に各学校と連携を取り、入学条件等について入念に確認することが望ましい。

英語で授業を実施する学校については、アメリカンスクール(14-2 教育関係施設参照)1校のみである。フランス語で授業を行う学校は、Institut Français de Coopération がチュニス市及び近郊の学校を管理しており、全ての問い合わせ・アドミッション等は Institut Français de Coopération で受け付けている。

また、外務省 HP 内「諸外国の学校情報」にも、チュニジアの教育機関に関する情報が掲載されている。

URL.: [http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world\\_school/07africa/schlist73300.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/07africa/schlist73300.html)

## 14-2 教育関係施設

【英語】

Ecole Americaine de Tunis (American Cooperative School Tunis、アメリカンスクール)

住所: Route de la Marsa, Cite Taieb Mhiri, 2045, Tunis, Tunisia

TEL 71-760-905

Fax 71-761-412

URL: <http://www.acst.net/>

E-mail: [american.school@acst.intl.tn](mailto:american.school@acst.intl.tn)

【フランス語】

Institut Français de Coopération

在チュニジアフランス大使館の HP に詳細情報が掲載されている。

Les Etablissement scolaires français en Tunisie

URL : [http://www.ambassadefrance-tn.org/france\\_tunisie/spip.php?article20](http://www.ambassadefrance-tn.org/france_tunisie/spip.php?article20)

E-mail: [responsable-site@ifctunisie.org](mailto:responsable-site@ifctunisie.org)

中学・高校レベルの学校

・Lycée-collège Pierre-Mendès-France (Tunis)

・Lycée-collège Gustave-Flaubert-France (La Marsa)

幼稚園・小学校レベル(5歳以上)

・École (maternelle et primaire) Paul-Verlaine (La Marsa)

・École (maternelle et primaire) Robert-Desnos (El-Omrane)

・École (maternelle et primaire) Georges-Brassens (Mégrine)

Ecole Internationale de Tunis (小学校、中学校、高校)

チュニジア唯一の公立のインターナショナルスクール。

住所: 20, Avenue de L indépendence, 2080 Ariana Tunisie

TEL 71 700 231

Fax 71 700 166

E-mail: [eco.inter@edunet.tn](mailto:eco.inter@edunet.tn)

International School of Carthage (幼稚園・小学校・中学校・高校)

2007年に新設されたばかりの私立学校。

チュニジア人だけでなくフランス、ロシア、オランダ等の外国人の生徒も多くいる。

住所: Jardin de Carthage, Ain Zaghouan 2046 Tunis

TEL 71-777-905/906/999

FAX 71-777-733

E-mail: [iscarthage@planet.tn](mailto:iscarthage@planet.tn)

URL: <http://www.iscarthage.com>

【5歳未満向け幼稚園・託児所】

5歳未満対象の幼稚園 (Jardin d enfants)・託児所(Crèche)もチュニス市内に多数ある。送迎は親が車やタクシーにて行うのが一般的。日本人受け入れ実績がある施設は以下のとおり。

Kids Club

住所: 25 Rue Juba, Cité Nassim, La Marsa, Tunis

TEL: 99666640 (仏語), 20036879(仏・英語可)

E-mail: kidsclubtunis@yahoo.com

備考: 3ヶ月児から4歳児まで受け入れており、年齢ごとにクラス分け。指導言語は仏語が主だが3歳児クラスからは英語レッスンもある。フルタイム(7:00~18:45までの間の適当な時間に預け入れ可)で200DT/月、ハーフタイム(7:00~12:00あるいは14:30~18:45)で170DT/月。年間登録料60DT。外国人多い。

The Pines Cooperative Pre-School

住所: 2 Rue Archimede, Cité Les Pins, La Marsa, Tunis

電話: 71-745-713, 98594429

備考: 3歳、4歳児の2クラスで少人数制を取っている。指導言語は英語。9:00~12:00の預け入れであるが、希望者は午後に仏語クラスを取ることも可能。「Cooperative」の趣旨から保護者には年間あたり一定時間の授業への貢献(図画工作、歌、ダンスなど)が求められている。

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 一般事情

該当情報なし。

### 15-2 運転手

該当情報なし。

### 15-3 家政婦・夫

該当情報なし。

### 15-4 庭師・ガードマン

該当情報なし。

## 16. メディア



### 16-1 新聞・雑誌

政府系の「ラ・プレス」(フランス語)、「アッサハーファ」(アラビア語)、独立系の「ル・タン」(フランス語)、「アッサバーハ」(アラビア語)などがある。

### 16-2 ラジオ

ラジオは、ERTT が 3 チャンネルの全国放送を実施している他、民放局(全国及び地方放送)も次第に増えている。

### 16-3 テレビ

テレビは、国営の ERTT (Etablissement de la Radiodiffusion Television Tunisienne) が 3 チャンネルの放送を実施しており、このうち 1 チャンネルはイタリアの国内テレビの中継である。また民放のハンニバル局がある。

またチュニスにて視聴できる衛星放送では、JSTV(有料)、TF1、FRANCE 2、3、4、5、M6、CNN、BBC 等がある。視聴には、パラボラアンテナ・受信機等の施設が必要となる。

## 17. スポーツ、趣味、語学学習



### 17-1 スポーツ

市内各所でスポーツクラブが営業しており、日本と同様に会費を支払うことで会員となり、施設の利用が可能になる。または、各利用時に使用料を支払い利用することも可能。年間 800 デイナール程度の会員制スポーツクラブも有る。また、高級ホテルのジム専用会員の制度もあり、多くの在留邦人が利用している。

### 17-2 趣味

該当情報なし。

### 17-3 語学学習

英語・フランス語・アラビア語が学習できる学校が存在する。各言語を教授する主要な学校は、以下の通り：

【英語】

AMIDEAST (America Middle-East Educational and Training Service)

住所 22 rue Al Amine Al Abassi, Cite Jardins 1002, Tunis-Belvédère, Tunisia

TEL 71 790-559; 790-563; 841-488; 842-523; 285-410

Fax: 71 791-913

URL: <http://www.amideast.org/offices/tunisia/default.htm>

E-mail: tunisia@amideast.org

British Council

住所: 87 Avenue Mohamed V, 1002 Tunis Belvédère, Tunisia

TEL 71-848-588

FAX 71-893-066

URL: <http://www.britishcouncil.org/tunisia.htm>

E-mail: [info@tn.britishcouncil.org](mailto:info@tn.britishcouncil.org)

【フランス語】

Institut Français de Coopération

住所: 87, avenue de la Liberté, BP 180 1080 Tunis cedex, Tunisia

TEL 71-105-200

FAX 71-105-203

URL: <http://www.ifctunisie.org/>

E-mail: [contact@ifctunisie.org](mailto:contact@ifctunisie.org)

【アラビア語】

Institut Bourguiba des Langues Vivantes

住所: 47, Av.de la Liberté.1002 Tunis. Tunisia

TEL 71-832-418/7-832-923

Fax: 71-833-684

URL: <http://www.iblv.rnu.tn/english/index.html>

## 18. 観光



### 18-1 地方観光の留意点

チュニジアの地方観光では、特に南部の砂漠地域への観光ツアーが数多くある。特に砂漠地帯を四輪駆動車で旅行する場合、車輛事故等により砂漠の中で取り残されたケースが過去にある。砂漠ツアー計画には、次の点に留意することが望ましい。

- ・防暑、防寒具、飲料水、食料など最低限の生活必需品の準備をする。
- ・ツアーに使用する車輛には食料、飲料水をはじめ地図、磁石、非常連絡用の無線機など非常用の備品を用意する。
- ・車両は2台以上で行動する。
- ・これらをチェックした上で信頼できるツアー会社を選ぶ。

夏季は日差しが強く、日中の気温が40度以上になることもあるので、外出の際はあまり肌を露出せず、日焼け止めクリームの塗布、帽子やサングラスの着用、十分な水分補給等の暑さ対策を心掛けること。

ウイルス性肝炎や食中毒にかかる日本人もいるので、生の魚介類、生野菜や

生水等には十分注意する必要がある。

またラマダン期間中には、運転手を含む国民の多くが、日の出より日の入りまで、一切の飲食(水を飲むことを含む)と喫煙を控えている。あと少しでイフタール(夜の食事のこと)という夕刻には、空腹のため家路に急ぐ人の運転が荒くなりがちである。また、イフタール後は、深夜遅くまで街に人出があるためにドライバー、歩行者ともに交通事故防止には十分留意すること。

## 18-2 主要観光地・保養地

チュニジアには、Sousse、Monastir、Hammamet、Nabeul、Djerba、Tabarka 等、数多くの観光地・保養地がある。詳しくは、以下の各サイトを参照。

Tunisian National Tourism Office

URL: <http://www.tourismtunisia.com/>

在京チュニジア大使館

URL: <http://www.tunisia.or.jp/>

URL: <http://www.tunisia.or.jp/cultureandtourism.htm> (特に観光について)

チュニジア紀行

URL: <http://www.japon.net/tunis/tunisiaindex.html>

## 18-3 旅行代理店

多くの旅行代理店がある。

Atlantis Voyages/アトランティスボヤ - ジュ

所在地: 29 Av. du Japon Imm. Fatma 1002 Montplaisir Tunis

電話: 71-784-555

FAX: 71-787-695

HP : <http://www.atlantisvoyages.com/>

Oussama Voyages(王様旅行)

所在地: 65 Rue Mokhtar Attia, Tunis

電話: 71-332-074、71-331-557

FAX: 332-074

以上